

ワクチンの安全性に関する評価について

令和8年7月24日、令和8年10月23日に開催された安全対策調査会（厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会と合同開催。以下「合同部会」という。）において、ワクチンの安全性に関し、副反応が疑われる症例の報告状況等について以下のとおり報告し、評価された。

1 新型コロナワクチンの接種及び副反応疑い報告の状況等について (令和8年7月24日及び令和8年10月23日開催合同部会)

(1) 副反応疑い報告の状況

各新型コロナワクチンの令和8年1月1日から令和8年3月31日までの報告状況は表1、令和8年4月1日から令和8年6月30日までの報告状況は表2のとおり。いずれの開催回においても、ワクチンの安全性において重大な懸念は認められないと評価された。

表1 新型コロナワクチンの副反応疑い報告の状況

(コミナティ筋注シリンジ12歳以上用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、コミナティ筋注6ヵ月~4歳用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、コミナティRTU筋注5~11歳用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、スパイクボックス筋注(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、ダイチロナ筋注(1価:オミクロン株XEC):R8.1.1~R8.3.31、コスタイベ筋注用(1価:オミクロン株XEC):R8.1.1~R8.3.31、ヌバキソビッド筋注(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31)

	接種可能 のべ人数	製造販売業者からの報告 【下段は報告頻度】		医療機関からの報告 【下段は報告頻度】		
		報告数	うち死亡	報告数	うち重篤	うち死亡
コミナティ筋注シリンジ12歳以上用 (1価:オミクロン株LP8.1)	—※1	12※2件	0件	6件	5件	0件
		—	—	—	—	—
コミナティ筋注6ヵ月~4歳用(1価:オミクロン株LP8.1)	—※1	0件	0件	0件	0件	0件
		—	—	—	—	—
コミナティRTU筋注5~11歳用(1価:オミクロン株LP8.1)	—※1	0件	0件	0件	0件	0件
		—	—	—	—	—
スパイクボックス筋注 (1価:オミクロン株LP8.1)	—※1	0件	0件	1件	1件	0件
		—	—	—	—	—
ダイチロナ筋注 (1価:オミクロン株XEC)	—※1	2件	0件	0件	0件	0件
		—	—	—	—	—
コスタイベ筋注用 (1価:オミクロン株XEC)	—※1	2件	0件	0件	0件	0件
		—	—	—	—	—
ヌバキソビッド筋注 (1価:オミクロン株LP8.1)	—※1	9件	2件	2件	0件	0件
		—	—	—	—	—

注1) 製造販売業者からの報告と医療機関からの報告は重複している可能性があり、重複症例は、医療機関からの報告として計上している。

※1) 対象期間において、返品等が行われていることから接種可能なべ人数を算出できないため「—」としている。

※2) この他に、過去の部会にて報告され、今回転帰が変更となった症例が1例ある。

表2 新型コロナワクチンの副反応疑い報告の状況

(コミナティ筋注シリンジ 12 歳以上用 (1 価: オミクロン株 LP8. 1): R8. 4. 1～R8. 6. 30、コミナティ筋注 6 ヶ月～4 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8. 1): R8. 4. 1～R8. 6. 30、コミナティ RTU 筋注 5～11 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8. 1): R8. 4. 1～R8. 6. 30、スパイクボックス筋注 (1 価: オミクロン株 LP8. 1): R8. 4. 1～R8. 6. 30、ダイチロナ筋注 (1 価: オミクロン株 XEC): R8. 4. 1～R8. 6. 30、コスタイベ筋注用 (1 価: オミクロン株 XEC): R8. 4. 1～R8. 6. 30、ヌバキソビッド筋注 (1 価: オミクロン株 LP8. 1): R8. 4. 1～R8. 6. 30)

	接種可能なべ人数	製造販売業者からの報告 【下段は報告頻度】		医療機関からの報告 【下段は報告頻度】		
		報告数	うち死亡	報告数	うち重篤	うち死亡
コミナティ筋注シリンジ 12 歳以上用 (1 価: オミクロン株 LP8. 1)	—※1	5 件	0 件	1 件	0 件	0 件
		—	—	—	—	—
コミナティ筋注 6 ヶ月～4 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8. 1)	—※1	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
		—	—	—	—	—
コミナティ RTU 筋注 5～11 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8. 1)	—※1	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
		—	—	—	—	—
スパイクボックス筋注 (1 価: オミクロン株 LP8. 1)	—※1	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
		—	—	—	—	—
ダイチロナ筋注 (1 価: オミクロン株 XEC)	—※1	6 件	1 件	0 件	0 件	0 件
		—	—	—	—	—
コスタイベ筋注用 (1 価: オミクロン株 XEC)	—※1	2 件	0 件	0 件	0 件	0 件
		—	—	—	—	—
ヌバキソビッド筋注 (1 価: オミクロン株 LP8. 1)	—※1	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件
		—	—	—	—	—

注1) 表1の注1) に同じ。

※1) 表1の※1) に同じ。

(2) 心筋炎及び心膜炎の評価について

各新型コロナワクチンの令和8年1月1日から令和8年3月31日までの報告状況は表3、4 令和8年4月1日から令和8年6月30日までの報告状況は表5、6のとおり。

表3 新型コロナワクチンの心筋炎疑い報告の状況

(コミナティ筋注シリンジ12歳以上用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、コミナティ筋注6ヵ月~4歳用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、コミナティRTU筋注5~11歳用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、スパイクボックス筋注(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、ダイチロナ筋注(1価:オミクロン株XEC):R8.1.1~R8.3.31、コストイベ筋注用(1価:オミクロン株XEC):R8.1.1~R8.3.31、ヌバキソビッド筋注(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31)

	心筋炎疑い報告		
	総数		
		うちブライトン 分類1~3	うち「ワクチンと症 状名との因果関係が 否定できないもの」
コミナティ筋注シリンジ 12歳以上用 (1価:オミクロン株LP8.1)	0件	0件	0件
コミナティ筋注6ヵ月~ 4歳用(1価:オミクロン株 LP8.1)	0件	0件	0件
コミナティRTU筋注5~11 歳用(1価:オミクロン株 LP8.1)	0件	0件	0件
スパイクボックス筋注 (1価:オミクロン株LP8.1)	0件	0件	0件
ダイチロナ筋注 (1価:オミクロン株XEC)	0件	0件	0件
コストイベ筋注用 (1価:オミクロン株XEC)	0件	0件	0件
ヌバキソビッド筋注 (1価:オミクロン株LP8.1)	0件	0件	0件

表4 新型コロナワクチンの心膜炎疑い報告の状況

(コミナティ筋注シリンジ12歳以上用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、コミナティ筋注6ヵ月~4歳用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、コミナティRTU筋注5~11歳用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、スパイクバックス筋注(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、ダイチロナ筋注(1価:オミクロン株XEC):R8.1.1~R8.3.31、コストタイプ筋注用(1価:オミクロン株XEC):R8.1.1~R8.3.31、ヌバキソビッド筋注(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31)

	心膜炎疑い報告		
	総数	うちブライトン 分類1~3	うち「ワクチンと症 状名との因果関係が 否定できないもの」
コミナティ筋注シリンジ 12歳以上用 (1価:オミクロン株LP8.1)	0件	0件	0件
コミナティ筋注6ヵ月~ 4歳用(1価:オミクロン株 LP8.1)	0件	0件	0件
コミナティRTU筋注5~11 歳用(1価:オミクロン株 LP8.1)	0件	0件	0件
スパイクバックス筋注 (1価:オミクロン株LP8.1)	0件	0件	0件
ダイチロナ筋注 (1価:オミクロン株XEC)	0件	0件	0件
コストタイプ筋注用 (1価:オミクロン株XEC)	0件	0件	0件
ヌバキソビッド筋注 (1価:オミクロン株LP8.1)	0件	0件	0件

表5 新型コロナワクチンの心筋炎疑い報告の状況

(コミナティ筋注シリンジ 12 歳以上用 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、コミナティ筋注 6 ヶ月~4 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、コミナティ RTU 筋注 5~11 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、スパイクバックス筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、ダイチロナ筋注 (1 価: オミクロン株 XEC): R8.4.1~R8.6.30、コストアイベ筋注用 (1 価: オミクロン株 XEC): R8.4.1~R8.6.30、ヌバキソビッド筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30)

	心筋炎疑い報告		
	総数		
		うちブライトン 分類 1~3	うち「ワクチンと症 状名との因果関係が 否定できないもの」
コミナティ筋注シリンジ 12 歳以上用 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	1 件	0 件	0 件
コミナティ筋注 6 ヶ月~ 4 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件	0 件
コミナティ RTU 筋注 5~11 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件	0 件
スパイクバックス筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件	0 件
ダイチロナ筋注 (1 価: オミクロン株 XEC)	0 件	0 件	0 件
コストアイベ筋注用 (1 価: オミクロン株 XEC)	0 件	0 件	0 件
ヌバキソビッド筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件	0 件

表6 新型コロナワクチンの心膜炎疑い報告の状況

(コミナティ筋注シリンジ 12 歳以上用 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、コミナティ筋注 6 ヶ月~4 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、コミナティ RTU 筋注 5~11 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、スパイクバックス筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、ダイチロナ筋注 (1 価: オミクロン株 XEC): R8.4.1~R8.6.30、コストイベ筋注用 (1 価: オミクロン株 XEC): R8.4.1~R8.6.30、ヌバキソビッド筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30)

	心膜炎疑い報告		
	総数		
		うちブライトン 分類 1~3	うち「ワクチンと症 状名との因果関係が 否定できないもの」
コミナティ筋注シリンジ 12 歳以上用 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件	0 件
コミナティ筋注 6 ヶ月~ 4 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件	0 件
コミナティ RTU 筋注 5~11 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件	0 件
スパイクバックス筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件	0 件
ダイチロナ筋注 (1 価: オミクロン株 XEC)	0 件	0 件	0 件
コストイベ筋注用 (1 価: オミクロン株 XEC)	0 件	0 件	0 件
ヌバキソビッド筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件	0 件

(3) 死亡症例の評価について

各新型コロナワクチンの令和8年1月1日から令和8年3月31日までの報告状況は表7、令和8年4月1日から令和8年6月30日までの報告状況は表8のとおり。

表7 新型コロナワクチン接種後の死亡報告の状況

(コミナティ筋注シリンジ12歳以上用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、コミナティ筋注6ヵ月~4歳用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、コミナティRTU筋注5~11歳用(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、スパイクバックス筋注(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31、ダイチロナ筋注(1価:オミクロン株XEC):R8.1.1~R8.3.31、コストタイプ筋注用(1価:オミクロン株XEC):R8.1.1~R8.3.31、ヌバキソビッド筋注(1価:オミクロン株LP8.1):R8.1.1~R8.3.31)

	死亡報告	
	総数	うち「ワクチンと死亡との因果関係が否定できないもの」
コミナティ筋注シリンジ 12歳以上用 (1価:オミクロン株LP8.1)	0件	0件
コミナティ筋注6ヵ月~ 4歳用(1価:オミクロン株 LP8.1)	0件	0件
コミナティRTU筋注5~11 歳用(1価:オミクロン株 LP8.1)	0件	0件
スパイクバックス筋注 (1価:オミクロン株LP8.1)	0件	0件
ダイチロナ筋注 (1価:オミクロン株XEC)	0件	0件
コストタイプ筋注用 (1価:オミクロン株XEC)	0件	0件
ヌバキソビッド筋注 (1価:オミクロン株LP8.1)	3※2件	0件

※2) このうち、1症例は過去の合同部会での報告において転帰未回復であったが、転帰死亡と判明した症例である。

表8 新型コロナワクチン接種後の死亡報告の状況

(コミナティ筋注シリンジ 12 歳以上用 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、コミナティ筋注 6 ヶ月~4 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、コミナティ RTU 筋注 5~11 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、スパイクボックス筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30、ダイチロナ筋注 (1 価: オミクロン株 XEC): R8.4.1~R8.6.30、コストイベ筋注用 (1 価: オミクロン株 XEC): R8.4.1~R8.6.30、ヌバキソビッド筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1): R8.4.1~R8.6.30)

	死亡報告	
	総数	うち「ワクチンと死亡との因果関係が否定できないもの」
コミナティ筋注シリンジ 12 歳以上用 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件
コミナティ筋注 6 ヶ月~ 4 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件
コミナティ RTU 筋注 5~11 歳用 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件
スパイクボックス筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件
ダイチロナ筋注 (1 価: オミクロン株 XEC)	1 件	0 件
コストイベ筋注用 (1 価: オミクロン株 XEC)	0 件	0 件
ヌバキソビッド筋注 (1 価: オミクロン株 LP8.1)	0 件	0 件

2 各ワクチンの報告状況

(令和8年7月24日及び令和8年10月23日開催合同部会)

(1) 麻しん、風しん、おたふくかぜ、水痘、帯状疱疹、HPV、百日せき、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ、肺炎球菌、ヒブ、BCG、日本脳炎、B型肝炎、RSウイルス、ロタウイルス各ワクチンの報告状況

令和8年1月1日から令和8年3月31日までの報告状況は表9、令和8年4月1日から令和8年6月30日までの報告状況は表10のとおり。ワクチンの安全性において重大な懸念は認められないと評価された。

表9 各ワクチンの副反応疑い報告状況(R8.1.1～R8.3.31) ()内は死亡

	接種可能なべ人数	製造販売業者からの報告 【下段は報告頻度】	医療機関からの報告 【下段は報告頻度】	
			報告数	うち重篤
乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	426,078	2件(0)	2件	1件(0)
		0.0005%	0.0005%	0.0002%
乾燥弱毒生麻しんワクチン	0	0件	0件	0件
		—※3	—※3	—※3
乾燥弱毒生風しんワクチン	16,994	0件	0件	0件
		—	—	—
乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	377,480	6件(0)	2件	2件(0)
		0.0016%	0.0005%	0.0005%
乾燥弱毒生水痘ワクチン	562,193	9件(0)	6件	3件(0)
		0.0016%	0.0011%	0.0005%
乾燥組換え帯状疱疹ワクチン	866,291	55件(1)	30件	18件(0)
		0.0063%	0.0035%	0.0021%
2価HPVワクチン	69	0件	0件	0件
		0.0000%	0.0000%	0.0000%
4価HPVワクチン	6,789	2件(1)	0件	0件
		0.0295%	0.0000%	0.0000%
9価HPVワクチン	270,368	10件(1)	13件	7件(0)
		0.0037%	0.0048%	0.0026%
沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン(DPT)	31,984	0件	1件	0件
		0.0000%	0.0038%	0.0000%
沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド(DT)	213,079	0件	0件	0件
		0.0000%	0.0000%	0.0000%
ジフテリアトキソイド	0	0件	0件	0件
		—	—	—

沈降破傷風トキソイド	349,023	0 件	0 件	0 件
		0.0000%	0.0000%	0.0000%
不活化ポリオワクチン	10,055	0 件	0 件	0 件
		0.0000%	0.0000%	0.0000%
沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチン	0	1 件(0)	0 件	0 件
		—※3	—※3	—※3
沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオヘモフィルス b 型混合ワクチン	724,238	12 件(1)	12 件	10 件(0)
		0.0017%	0.0017%	0.0014%
ヒブワクチン	1,013	0 件	0 件	0 件
		—	—	—
沈降 13 価肺炎球菌結合型ワクチン	0	2 件(0)	0 件	0 件
		—※3	—※3	—※3
沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン	719,815	11 件(1)	13 件	10 件(0)
		0.0015%	0.0018%	0.0014%
沈降 15 価肺炎球菌結合型ワクチン	13,434	20 件(0)	1 件	1 件(0)
		0.1489%	0.0074%	0.0074%
21 価肺炎球菌ワクチン	40,016	2 件(0)	0 件	0 件
		0.0050%	0.0000%	0.0000%
23 価肺炎球菌ワクチン	95,060	5 件(1)	3 件	3 件(0)
		0.0053%	0.0032%	0.0032%
乾燥 BCG ワクチン	181,347	3 件(0)	16 件	3 件(0)
		0.0017%	0.0088%	0.0017%
日本脳炎ワクチン	769,068	2 件(0)	2 件	1 件(0)
		0.0003%	0.0003%	0.0001%
組換え沈降 B 型肝炎ワクチン(酵母由来)	775,678	10 件(0)	9 件	7 件(0)
		0.0013%	0.0012%	0.0009%
組換え RS ウイルスワクチン(アレックスビー)	2,055	2 件(2)	0 件	0 件
		0.0973%	0.0000%	0.0000%
組換え RS ウイルスワクチン(アブリスボ)	63,604	29 件(0)	2 件	2 件(0)
		0.0456%	0.0031%	0.0031%
経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン	228,244	8 件(0)	7 件	7 件(0)
		0.0035%	0.0031%	0.0031%
5 価経口弱毒生ロタウイルスワクチン	179,822	6 件(1)	6 件	5 件(0)
		0.0033%	0.0033%	0.0028%

注 2) 製造販売業者からの報告と医療機関からの報告は重複している可能性があり、重複症例は、医療機関からの報告として計上している。

※3) 対象期間中の納入数は 0 であり、頻度が算出できないため、「—」としている。

表 10 各ワクチンの副反応疑い報告状況(R8. 4. 1～R8. 6. 30) () 内は死亡

	接種可能なべ人数	製造販売業者からの報告 【下段は報告頻度】	医療機関からの報告 【下段は報告頻度】	
			報告数	うち重篤
乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	748, 681	2 件(0)	8 件	3 件(0)
		0. 0003%	0. 0011%	0. 0004%
乾燥弱毒生麻しんワクチン	0	0 件	0 件	0 件
		—※3	—※3	—※3
乾燥弱毒生風しんワクチン	19, 194	0 件	0 件	0 件
		0. 0000%	0. 0000%	0. 0000%
乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	370, 919	5 件(0)	9 件	3 件(0)
		0. 0013%	0. 0024%	0. 0008%
乾燥弱毒生水痘ワクチン	626, 854	3 件(0)	10 件	5 件(0)
		0. 0005%	0. 0016%	0. 0008%
乾燥組換え帯状疱疹ワクチン	1, 261, 624	47 件(2)	19 件	8 件(0)
		0. 0037%	0. 0015%	0. 0006%
2 価 HPV ワクチン	—※4	2 件 (0)	0 件	0 件
		—	—	—
4 価 HPV ワクチン	1, 167	4 件(0)	0 件	0 件
		0. 3428%	0. 0000%	0. 0000%
9 価 HPV ワクチン	120, 711	17 件(0)	16 件	8 件(0)
		0. 0141%	0. 0133%	0. 0066%
沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン(DPT)	22, 940	0 件	0 件	0 件
		0. 0000%	0. 0000%	0. 0000%
沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド(DT)	175, 456	1 件 (0)	0 件	1 件 (0)
		0. 0006%	0. 0000%	0. 0006%
ジフテリアトキソイド	0	0 件	0 件	0 件
		—※3	—※3	—※3
沈降破傷風トキソイド	332, 338	2 件 (0)	0 件	0 件
		0. 0006%	0. 0000%	0. 0000%
不活化ポリオワクチン	13, 736	0 件	0 件	0 件
		0. 0000%	0. 0000%	0. 0000%
沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチン	0	2 件(0)	0 件	0 件
		—※3	—※3	—※3
沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオヘモフィルス b 型混合ワクチン	664, 009	6 件(0)	27 件	19 件(1)
		0. 0009%	0. 0041%	0. 0029%
ヒブワクチン	867	0 件	0 件	0 件
		0. 0000%	0. 0000%	0. 0000%

沈降 13 価肺炎球菌結合型ワクチン	0	0 件	0 件	0 件
		—※3	—※3	—※3
沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン	866, 025	7 件(0)	28 件	20 件(1)
		0. 0008%	0. 0032%	0. 0023%
沈降 15 価肺炎球菌結合型ワクチン	8, 930	3 件(0)	3	2 件(0)
		0. 0336%	0. 0336%	0. 0224%
21 価肺炎球菌ワクチン	60, 685	3※2 件(0)	2 件	1 件(0)
		0. 0049%	0. 0033%	0. 0016%
23 価肺炎球菌ワクチン	2, 317	1 件(0)	0 件	0 件
		0. 0432%	0. 0000%	0. 0000%
乾燥 BCG ワクチン	173, 190	3 件(0)	11 件	2 件(0)
		0. 0017%	0. 0064%	0. 0012%
日本脳炎ワクチン	940, 349	2 件(0)	6 件	3 件(0)
		0. 0002%	0. 0006%	0. 0003%
組換え沈降 B 型肝炎ワクチン(酵母由来)	1, 006, 386	7 件(0)	21 件	14 件(0)
		0. 0007%	0. 0021%	0. 0014%
組換え RS ウイルスワクチン(アレックスビー)	2, 130	0 件	0 件	0 件
		0. 0000%	0. 0000%	0. 0000%
組換え RS ウイルスワクチン(アブリスボ)	157, 284	31 件(0)	7 件	4 件
		0. 0197%	0. 0045%	0. 0025%
経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン	198, 089	6 件(0)	11 件	8 件(0)
		0. 0030%	0. 0056%	0. 0040%
5 価経口弱毒生ロタウイルスワクチン	174, 383	1 件(0)	12 件	10 件(0)
		0. 0006%	0. 0069%	0. 0057%

注2) 表9の注2) に同じ。

※3) 表9の※3) に同じ。

※4) 対象期間において、返品等が行われていることから接種可能なべ人数を算出できないため「—」としている。

(2) 死亡症例の評価について

死亡症例は令和8年1月1日から令和8年3月31日までの対象期間に8例報告され、調査中の6例を除き、専門家による評価により、「ワクチンと死亡との因果関係が否定できないもの」とされた症例はなかった。

令和8年4月1日から令和8年6月30日までの対象期間に3例報告され、いずれも調査中である。

3 インフルエンザワクチンの報告状況（令和8年7月24日開催合同部会）

（1）報告状況

推定接種可能回数はインフルエンザワクチンが4,540万回、経鼻弱毒生インフルエンザワクチンが約100万回で、令和7年10月1日から令和8年3月31日までの報告状況は表11、表12のとおり。インフルエンザワクチンの報告頻度は、これまでと比べて特段高いという状況ではなく、新たな措置をとる必要はないとされた。経鼻弱毒生インフルエンザワクチンについては、脳炎・脳症の症例が国内で初めて報告されたが、7月部会において新規の症例はなく、引き続き追加情報を注視することとされた。

表11 インフルエンザワクチンの報告状況（対象期間：R7.10.1～R8.3.31）

		2025/2026 報告 (R7.10.1～R8.3.31)		2024/2025 報告 (R6.10.1～R7.3.31)	
推定接種者数		45,370,141 人		45,474,335 人	
製 販 報 告	重篤	23 件	0.000051%	33 件	0.000073%
	うち死亡	2 件	0.0000044%	3 件	0.0000066%
医 療 機 関 報 告	全体	78 件	0.00017%	88 件	0.00019%
	うち重篤	35 件	0.00008%	49 件	0.00011%
	うち死亡	5 件	0.0000110%	7 件	0.0000154%

注3) 製造販売業者からの報告と医療機関からの報告は重複している可能性があり、重複症例は、医療機関からの報告として計上している。

表12 経鼻弱毒生インフルエンザワクチンの報告状況（対象期間：R7.10.1～R8.3.31）

		2025/2026 報告 (R7.10.1～R8.3.31)		2024/2025 報告 (R6.10.1～R7.3.31)	
推定接種者数		1,030,630 人		371,660	
製 販 報 告	重篤	10 件	0.000970%	16 件	0.004305%
	うち死亡	0 件	0.000000%	0 件	0.000000%
医 療 機 関 報 告	全体	20 件	0.001941%	4 件	0.001076%
	うち重篤	16 件	0.001552%	3 件	0.000807%
	うち死亡	1 件	0.000097%	0 件	0.000000%

注3) 表11の注3)に同じ。

（2）死亡症例の評価について

死亡症例は、対象期間内にインフルエンザワクチンが7例、経鼻弱毒生インフルエンザワクチンが1例報告され、いずれも情報不足等によりワクチンと症状名との因果関係が評価できないとされた。